



まの
がき
正垣
とむ
やす
友保さん



正垣友保さん
31歳(内牧2区)



今月は、ひょうたんの透かし彫りで、全国大会・銀賞を2年連続
受賞経験のある正垣友保さんをご紹介します。

ひょうたんは、世界最古の栽培植物といわれ、品種も多く、食用と非食用があります。ひょうたんの種をとり乾燥させたものは、特有の角のない形と水に沈まないことから加工して縁起物としての利用が日本では多いようです。

今回ご紹介する正垣さんは、ひょうたんの透かし彫りの名人です。7年前、阿蘇郵便局に赴任して、そのころから趣味として始めました。仕事の後、自宅で週に2〜3日製作しています。

正垣さんが、よく使用するひょうたんは50センチから30センチくらいのもので、小国町にいるお父さんが栽培しています。

初秋に収穫し乾燥が終わると、早速小国に帰ってひょうたん選びに入ります。

透かし彫りは、彫刻刀や電気ドリルで模様を刻んでいくので、薄いものは割れやすく厚いものは刻みにくい。なにより、特徴である曲線がきれいにできているものを選ぶのがポイントです。

「彫る作業より模様(デザイン)を考えることが好きです」と正垣さん。曲線に合うデザインのアイディアを思いついた時が一番うれしいと言われます。

途中で失敗したら終わりという根気のいる作業のすえ完成した透かし彫りは、通常ランプにします。

明かりを点すと美しい神秘的なインテリアとなり、縁起もいいことから大変人気のある置物です。

正垣さんの作品は、デザイン性に優れ、ひょうたん工芸大会ではその

実力が評価。県の愛瓢会(あいひょう)では何度も優勝し、4年前の第29回全国愛瓢会では史上最年少で銀賞を獲得。続く第30回大会でも銀賞と、2年連続2位に輝くという成績を修めています。

「ひょうたんの工芸には若い人たちの関心が少ないですが、飾り物として美しいし、材料費もわずかで済みます。多くの人に楽しんでもらいたいです」と正垣さん。今後さらに自分の納得のいく作品をつくってきたいと抱負を述べられました。



第30回全国愛瓢会銀賞受賞作品



～市長の日程をホームページで見られるようになりました～

一週間ごとの阿蘇市長の主な日程を市のホームページに掲載しています。

ホームページアドレスやバーコードは表紙をご参照ください。